

情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU 部会  
地上業務委員会（第 75 回） 議事概要

1 日 時

令和 5 年 4 月 26 日（水）14:00～15:30

2 場 所

Web会議

3 出 席 者（敬称略、順不同）

[委員・専門委員]

三瓶 政一（主査：大阪大学）、辻 宏之（主査代理；情報通信研究機構）、足立 朋子（東芝）、新 博行（NTTドコモ）、飯塚 留美（マルチメディア振興センター）、大槻 秀夫（日本無線）、上村 治（ソフトバンク）、小西 聡（KDDI総合研究所）、斉藤 佳子（パナソニック コネクト）、袖 美樹子（新居浜高専）、福家 裕（日本電信電話）、増田 浩代（富士通）

[関係者]

三留 隆弘（スカパーJSAT）、中村 一城（鉄道総合技術研究所）、小川 博世、小山 敏（以上2名情報通信研究機構）、横山 隆裕、渡部 聡彦（以上2名電波産業会）、岩谷 純一、大槻 信也、中谷 達也（以上3名日本電信電話）、川本 真紀夫、山崎 高日子（以上2名三菱電機）、片山 麻衣子（ワシントンコア）、吉野 仁（ソフトバンク）

[事務局]

総務省移動通信課新世代移動通信システム推進室 増子室長、吉積課長補佐、重成係長、柴田官

基幹・衛星移動通信課 基幹通信室 武田補佐、石黒主査、星官

4 配 付 資 料

資料地-75-1	地上業務委員会（第74回）議事概要（案）
資料地-75-2	ITU-R SG 5 関連会合報告書（案）
資料地-75-3	ITU-R SG 5 関連会合への日本寄与文書（案）
資料地-75-4	ITU-R SG 5 関連会合の対処方針（案）
参考資料1	ITU-R SG 5 関連会合の開催案内
参考資料2	ITU-R SG 5 関連会合の日本代表団一覧
参考資料3	地上業務委員会 構成員名簿

## 5 議 事 概 要

### (1) 地上業務委員会（第74回）議事概要について

#### 【資料地-75-1】

地上業務委員会（第74回）の議事概要について事務局から説明があり、意見等がある場合は、本日4月26日（水）中に事務局に連絡することとされた。

### (2) ITU-R SG 5 関連会合の報告について

#### 【資料地-75-2】

資料地-75-2-1及び資料地-75-2-2に基づき、事務局より前回のITU-R SG 5関連会合の報告が行われた。

### (3) ITU-R SG 5 関連会合への日本寄与文書案について

#### 【資料地-75-3】

事務局から、ITU-R SG 5 関連会合への日本寄与文書案は計8件であり、WP 5A会合については資料地-75-3-1から資料地-75-3-4までの4件、WP 5G会合については資料地-75-3-5から資料地-75-3-8までの4件であるとの説明があった。

#### 【資料地-75-3-1】

「PDNR ITU-R M. [AS. GUIIDANCE]に関する検討」について、スカパーJSATの三留氏から説明がなされ、以下の質疑応答の後、承認された。

三瓶主査 今回の提出元が内閣府の理由は如何。

三留氏 内閣府が準天頂衛星システムの開発と運用をしており、その保護を考慮して、提出元とした。

三瓶主査 了

新構成員 寄書本文の脚注1は不要ではないか。また、6ページの additional constraints or limitations が何に対してかを明確にする必要があるのではないか。

三留氏 然り。脚注1は不要であるため、削除する。また、6ページも明確化した表記に修正して提出する。

#### 【資料地-75-3-2】

「ITU-R新勧告草案M. [RSTT\_FRQ]に向けた作業文書の修正案」について、鉄道総研の中村氏から説明がなされ、以下の質疑応答の後、承認された。

三瓶主査 寄書概要の経緯の末尾「本作業文書は、第29回会合までに完成する予定であった」と記載しているが、第29回会合で変わらず予定して

いるのか。

- 中村氏 然り。変わらず予定しているため、「予定である」に修正をする。  
新構成員 提案の書きぶりで、作業計画で完成予定だから完成させるではなく、あくまで中身が DNR に格上げできるレベルのものだから完成すべきという記載にしてみるのはいかがでしょうか。
- 中村氏 了。そのように修正して提出する。
- 小川氏 本文の黄色のハイライトが今回、変更した部分であるか。
- 中村氏 前回の修正部分である。
- 辻主査代理 陸上移動 WG の時点では、関係者との調整結果次第では本寄書の提出を取り下げの可能性があるとのことであったが、如何。
- 中村氏 検討会のメンバーに承認を得たので、問題なく寄書として提出する。

【資料地－75－3－3】

「ITU-R新報告草案M. [CAV]作業文書への修正提案」について、電波産業会の横山氏から説明がなされ、以下の質疑応答の後、承認された。

- 三瓶主査 前回会合でも中国提案の「生の知覚データ」が論点になっていたが、どのような議論がなされたのか。
- 横山氏 前回会合で日本から提案した内容については、中国との間で議論されて合意されている。今回会合で新たに寄書入力している内容は、前回会合で中国が新たに入力したテキストに対する疑義を述べたものである。
- 三瓶主査 了。

【資料地－75－3－4】

「ITU-R新研究課題草案[FUTURE-ITS-CAV]/5の修正提案」について、電波産業会の横山氏から説明がなされ、以下の質疑応答の後、承認された。

- 新構成員 decides 内の項目 3 について、「future development of ITS」と「further development of ITS」が混在しているが、意図的に使い分けているのか。
- 横山氏 意図的ではないため、「future」で統一する。
- 新構成員 本研究課題案は今回のWP5A会合で完成させたいのか。
- 横山氏 元々ドイツ発案であるため、ドイツと相談して進める。ただ、今年9月にもWP5A会合が開催されるので、その際にでも良いと考えている。

【資料地－75－3－5】

「レポートF. 2416-0改定草案への提案」について、情報通信研究機構の小川氏から説明がなされ、以下の質疑応答の後、承認された。

三瓶主査 この提案は、前回会合で議論尽くされているという認識でよいか。

小山氏 然り。前回会合の際に、次回会合で更に各国の問題を改訂草案に追加し、議論する予定となった。改訂草案の成立を優先して削除されてもよいと考えている。

三瓶主査 了。

【資料地－75－3－6】

「勧告改訂草案ITU-R F. 758-7に対する修正提案」について、日本電信電話の大槻氏から説明がなされ、以下の質疑応答の後、承認された。

足立構成員 寄書本文のConsiderationsの2段落目のThe one proposed to～の文章に動詞がない、The other proposed の間にisが入る、Both of の後の orが andになるのではないか。

大槻氏 然り。事務局と相談して正しく修正する。

【資料地－75－3－7】

「報告改訂草案 ITU-R F. 2323-1 に対する修正提案」について、日本電信電話の大槻氏から説明がなされ、特段質疑なく、承認された。

【資料地－75－3－8】

「WP5C に割り当てられた研究課題の見直し」について、日本電信電話の大槻氏から説明がなされ、以下の質疑応答の後、承認された。

新構成員 Attachment内の冒頭の表の記載のうち、Question 246-1について、Provisional proposed action欄にはMOD(修正して維持する)という旨記載があるが、Comments欄には、” No output document is produced” と記載があり、矛盾している印象を抱く可能性がある。Comments欄は” 対象のハンドブックはすでに作成済みであり” という旨の記載にした方がいいのではないか。

大槻氏 了。修正したものを提出する。

(4) ITU-R SG 5 関連会合の対処方針案について

【資料地－75－4】

ITU-R SG 5 WP 5A第29回会合、及びWP 5C第29回会合の対処方針（案）について、事務局から説明が行われ、特に質疑なく承認された。

その他、以下の質疑応答があった。

- 小川氏 前回会合にて、RSTT を WG2 から WG3 に移管する提案があったが、我が国としての方向性につき確認したい。
- 中村氏 RSTTは現在、この分野において日本と立場の近い中国が議長を務めるWG2で取り扱われている訳だが、他方でWG3議長はRSTTに関して日中と見解の異なる米国が務めていることもあり、引き続きWG2に維持したいと考える。
- 事務局 この提案がなされた理由の背景として、WG間での作業量の平均化の観点や、WG3の所管が今後「ミッション・クリティカル」となりRSTTがそれに親和するといった観点等もある。現時点で移管の適否に関して判断するのは難しいため、会合の中で関係各国や議長とのやりとりを通じて適切に判断するとの方向でいかがか。
- 構成員 了。

(5) その他

参考資料について、事務局から説明があった。

以上